



長年の茶業発展への
功績を称え表彰
茅野十吉さんに県農業功労者表彰

長年にわたり農業発展に尽力された方を顕彰する平成19年度県農業功労者表彰で、茶生産者の茅野十吉さん（国見町）が表彰されました。茅野さんは昭和27年の就農当初から茶栽培にいち早く着目し、以来数々の要職を務めながら茶専業農家として、枕崎市をはじめ川辺地区、県に至る茶業の発展に貢献されました。

茅野さんは、「中原茶生産組合35年の節目の年に表彰をいただきうれしい」と受賞の喜びを語りました。



河川浄化を記事にした
枕崎小の『ガベ新聞』が快挙
『環境かへ新聞コンテスト』で優秀賞

小学生に自然や環境の大切さを考えてもらう「こども環境サミット」が3月25日、7月の北海道洞爺湖サミットと同じ会場で開催され、これに合わせて公募していた「環境かへ新聞コンテスト」の表彰式が行われました。

このコンテストのチーム部門で、枕崎小6年の田中来奈さん、上釜隆聖君、前田周哉君の作品「牧園新聞」が優秀賞に選ばれ、3人に賞状が手渡されました。

枕崎小6年1組は、川に水質浄化に有効とされるEM菌団子を投入した取り組みを、8班に分かれてガベ新聞にまとめました。それぞれが写真とイラストをふんだんに使い個性のある作品に仕上がりに、このコンテストを知った益永秀一教諭が応募しました。3人は、「記事を考えること、それに合う写真を探すが難しかった。小学生最後のいい記念になった」と話していました。

みんなで枕崎駅のイメージアップを ～飲食店主などが駅に花プランターを設置

観光客などに気持ちよく枕崎駅を訪れてもらおうと、飲食店主などの有志7人が3月12日、JR枕崎駅の通路に花のプランター22個を設置しました。

観光客から「駅には何も無い」という声を聞いたホテル業の横山ユミ子さんと飲食店主の久保昭男さんが、指宿から枕崎まで乗車したところ、「枕崎駅が一番寂しかった」と感じ、まずは花を植えてきれいにしようと、自分たちで集めたパンジーなどの花を植えました。

横山さんは、「今後、花をもっと増やしてきれいな駅にしていきたい。また、観光客の便利がいいように、案内看板を設置するため募金活動をしています。市民の皆さんにもっと駅に注目してほしい」と呼びかけました。



フランスの幻想的な音楽に酔いしれた ～仏・シャイヨール国際音楽祭の演奏者が枕崎で交流

南フランスのシャイヨールで開催されている野外音楽祭の参加アーティスト6人を招いた音楽会が2月27日、金山小学校と明治蔵で行われました。明治蔵では、ギターやバイオリン、ピアノ、ダンスを用いた激かで不思議な雰囲気音楽に、50人あまりの観客が魅了されました。

演奏後は交流会が開催され、女性グループなどが用意した数々の料理のもてなしに一行は大感激。総監督でもあるミカエル・ディアソさんは、「交流を通して、母国フランスを見つめ直す機会となった。皆さんと時間を共有できてとてもうれしかった」と話しました。



子どもたちの防火への呼びかけに ～幼年消防クラブ防火ポスター展

春の火災予防運動期間に合わせて防火への意識を高めてもらうため、南薩地区消防組合の幼年消防クラブポスター展が開催されました。

各幼年消防クラブから火災予防のポスター370点が出品される中、「ふじ幼年消防隊」の青野辰哉くんの作品が金賞に選ばれました。

期間中（3月1日～7日）、優秀作品が枕崎や南さつま市の7会場に展示され、子どもたちの明るく、いきいきとした表現のポスターが火災予防運動に貢献しました。



青野辰哉くんの作品

きれいな火之神公園で観光客を歓迎しよう ～女性グループらが火之神公園を清掃

まくらざきハーモニーネットワーク委員会（片山弘子会長）による火之神公園一帯の清掃ボランティアが、3月15日に行われました。参加したのは、同委員会の会員や市民、市職員など約60人。空き缶やペットボトル、弁当の容器など軽トラック2台分のゴミを拾い、また、あじさいの植栽や追肥作業を行いました。

この取り組みは、同委員会が「きれいなまちづくり」の一環として、きれいな公園で多くの観光客を歓迎しようとして始められ、今回で7回目の作業となります。



ヨットの魅力を堪能しながら
枕崎の魅力を考える
第3回地元学講座「海から見た枕崎」

海から見た枕崎の良さを発見してもらうことを目的に、冒険家・今給黎敦子さんによる「第3回地元学講座」が3月15・16日に開催されました。15日には、今給黎さんが単独無寄港世界一周を成し遂げたヨット「海連」での体験クルージングが行われ、市民など27人が参加。風と波を間近に感じながら、港から立神岩付近までの普段では見られない風景を楽しみました。大きな波で船が揺れるたびに悲鳴を上げていた枕崎中学校の味園愛美さんは、「海から枕崎を見るのは初めて。まちが思ったより広く見えた」と話していました。16日には、サン・フレッシヨ枕崎で今給黎さんによる講演会が行われ、「陸から海を見るだけではなく、海から見る枕崎には観光という観点から無限の可能性がある」と語り、漁港内遊覧やカモノ・トンビへの餌付けなどの体験メニューも提案されました。



ほくたちの町の特産品、おいしかった ～まくらざき保育園で「親子でぶえん鯉の試食会」

まくらざき保育園で3月15日、保育参観の日に合わせて「親子でぶえん鯉の試食会」が開催され、園児たちや保護者などが新鮮な「枕崎ぶえん鯉」を味わいました。

これは市漁協が、ぶえん鯉のPRソング「歌になった枕崎ぶえん鯉」を保育園のおゆづき曲にしておうと同園に依頼し、同時にぶえん鯉も味わってもらおうと企画されたものです。

試食会では、刺身やにぎりのほかロールパンにアボカドなどと一緒にはさんだメニューもあり、園児だけでなく保護者たちにも好評でした。